

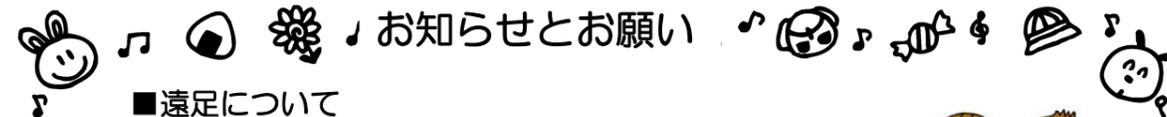


# こだま



ひむろこだま保育園 園だより  
〈2024年4月30日発行〉

〒569-1141  
高槻市氷室町1-21-12  
TEL(本園) 072-695-1516  
(分園) 072-695-1563



## ■遠足について

5月28日(火)は、遠足です。お弁当の用意をお願いします。行き先など詳細は別紙にてお知らせします。



## ■水筒持参について(3~5歳児)

- 遠足の散歩にもたくさん出かけるようになり暑さが見込まれますので、水筒のご用意をお願い致します。
- 3~5歳児クラスは、5月7日(火)より毎日水筒を持参してください。
- ジュース・スポーツドリンクは控えてください。
- 水筒の中身は、子どもがすぐゴクゴク飲める温度でお願いします。
- お茶は朝沸かしたものにしてください。熱いお茶を冷ますため以外、氷を入れないようにしてください。氷は、水筒の中に残らないようにしてください。
- 午前中を過ぎた時点で残りのお茶は破棄します。
- 土曜日と同様に水筒を持参してください。

## ■お車での送迎について

- 車での送迎は登録されている方に限ります。登録は年度毎の更新となり、今年度の登録証はピンク色です。登録車以外の駐車は絶対にしないで下さい。
- 送迎時間は15分から20分に留め、速やかに降園して下さい。
- 祖父母の方にも必ず、車の送迎に関するマナーをご説明して頂きますよう、よろしくをお願いします。
- マナー違反など保育園から注意を2回以上受けた場合は車での送迎は禁止になりますのでご注意ください。

## ■送迎時のお願い

- 不審者対応のため、園への出入りは保護者証(QRコード)を必ずつけてください。保護者証を忘れた場合は、必ず事務所か近くの保育者に声をかけてください。カードケースは園指定のピンク色の紐のものになります。
- 園内外で、カードケースの落とし物が増えています。取扱いに気を付けましょう。
- ※ 保育園の開園時間は7時~19時です。朝7時より前のQRコードの読み込ませは、認められません。お迎えも必ず19時までにはお願いします。遅れる場合は、必ず連絡してください。

## ■徴収金について

- 5月から引き落としが始まります。4月分(新年度用品代やスポーツ振興センター掛金、幼児クラスは主食費など)が引き落とされます。

## ■分園の開園時間について

- 2日(木)は、びわぐみは18時には本園へ移動します。19時まで開いていません。
- 7日(火)は、朝7時に鍵が開きます。布団入れに布団を入れてください。



今城塚には青々とした緑が育ち、心地よい暖かな風が豊かな自然の薫りを運んでくれる季節となりました。園庭には幼児クラスの子もたちが作った大きなこいのぼりが元気よく泳ぎます。

さて、入園・進級から1ヶ月経ちました。新しい生活に不安を感じていた子どもたちも、少しずつ笑顔で登園し、保育者やお友だちと一緒にあそぶ姿が見られるようになってきました。晴れた日には、園庭で砂あそびやかっこをしたり、散歩に出かけて、たくさんの春の自然を感じ楽しんでます。

今月は、保育参観を予定しています。子どもたちの保育園での生活やあそび、お友だちと関わる様子などを見ていただいたり、保護者の方にも保育参加していただきたいと思っています。クラス懇談会もありますので、お忙しいとは思いますがぜひ参加いただきますようお願いいたします。

5月の行事予定		
2日	木	身体測定5歳
7日	火	身体測定4歳
8日	水	誕生会・子どもの日のつどい 身体測定3歳
9日	木	身体測定2歳
10日	金	身体測定1歳
11日	土	きりんぐみ予約日
13日	月	身体測定0歳
14~17日	火~金	0,1歳 参観週間①
18日	土	0,1歳 クラス懇談会 半日保育
21~24日	火~金	0,1歳 参観週間②
22日	水	内科健診
25日	土	2~5歳 保育参観, クラス懇談会
28日	火	0~5歳 遠足 (詳細は後日おたよりにてお知らせ)
29日	水	避難訓練
30日	木	青空保育(3歳)
31日	金	5歳 わっぱる遠足

## 今月の保育目標 ☆・☆・☆・☆・☆

- \*春の自然に親しみ思いきり身体を動かして、あそぶ。
- \*保育士や友だちと生活やあそびを通して共感関係を広げる。
- \*生活の流れがわかり身の回りのことをすすんで行おうとする。

## 『子どもを信じることと主体性』

ひむろこだま保育園では、生活の中で自分で考え行動できる力を育てています。

子どもの思いや主体性を大切にしよう、またおとなが子どもの行動を先取りしてしまわないように、「できるだけ声をかけないようにして待つ」という関わりをすることはありませんか?素晴らしいことだと思いますが、小さい子どもには信じて任せるといっただけでは十分ではなく、子どもが決める機会や意思を問う機会を設けるといったように、おとなが「積極的に引き出す」という関わりが必要です。

子どもと一緒に生活する他者として大事なものは、おとなが影を潜めるのではなく、子どもに思いを伝えることと、子どもを信じて一人の他者として「対話」することではないでしょうか。おとなも「こう思うよ」とメッセージを送り、子どもたちとの対話を大切にしていきたいですね。